

知事と区市町村長との意見交換（渋谷区、葛飾区）

令和 4 年 9 月 26 日（月）

17 時 00 分～17 時 25 分

○行政部長 本日の意見交換ですけれども、渋谷区と葛飾区となっております。

まず渋谷区から始めさせていただきまして、葛飾区につきましては、後ほど参加していただくということで進めさせていただければと思います。

渋谷区の長谷部区長、こちらの音声、映像等々届いていますでしょうか。

○渋谷区長 はい。届いています。

○行政部長 これから意見交換を始めさせていただきます。恐れ入りますが、再度御発言までマイクのみュート設定をお願いいたします。

はじめに知事から一言、御挨拶お願い申し上げます。

○知事 こんにちは。

○渋谷区長 はい。こんにちは。

○知事 はい。お元気そうでございまして、今日はよろしく願いいたします。

渋谷区の方では4月から、渋谷区子育てネウボラの施設内に児童相談所のサテライトオフィスを設置して、児童虐待の防止ということで、都と区が連携している一つのいい例になっているのかなというふうに思います。

限られた時間ですけれども、御意見や御要望を伺えればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 ありがとうございます。

それでは渋谷区の長谷部区長、御発言をよろしく願い申し上げます。

○渋谷区長 はい。ご無沙汰しています。本日はよろしく願いします。

今お話ありましたネウボラのサポート含めて、日頃から様々な場面で区政のサポート、都の方もいただいていること、感謝申し上げます。

今日ちょっと時間がないので幾つか要点だけお伝えして、お話出来ればと思います。

一つは以前から申し上げているスタートアップのエコシステムの国際化というところで、渋谷という街を中心にやっていただけないかというお話です。

渋谷区としても今度新しくエコシステムを作っていくために、アクセラのプログラムを民間企業と一緒にやっていきます。都からも様々な場面でまたサポートいただけると、ありがたいと思っています。

パリの Station F のようにというふうに申し上げますけれども、そういった施設も今後の開発の中で含めて、都と一緒にそういうことも考えていけたらと思っていますので、引き続きこういったところも御検討いただければと思います。

もう一つ、結構重要なポイントなんですけれども、女性の相談というか、若い女性が、特に都心でもあるので様々な被害に遭っています。これがその支援事業の表ですけれども、ち

よっと送ってください。

ここも読んでいただけると、本当に今切迫しているような状況だということがお分かりになるかと思います。また送ってください。

非常に一時保護しなければいけないという状況が、多々そういった場面が見受けられています。送ってください。

ここが一つ、ちょっと大きいのですが、実際支援事業をしている中で、渋谷区民の事業と言うよりは、実は区民外の人が、特に渋谷駅周辺とか、原宿とかで補導ではないですけども、そういった近い中で家出してきてしまっているとか、やむなくフラフラッと来ている、そういった子達をサポートしていることがやはり多くて、なのでこの後いろんな資料が続いていきますけども、こういった切迫した事業ですが、実は渋谷区民外の人が多いというのが現状です。

なので、多くが都民でもある（※渋谷区民外であるの意）ことから、もう少しこの分野で費用的なもの、若しくは人的なサポート含めて、また背中を押していただけるとありがたいというのが、一つお願いです。

最後に三つ目になりますけども、これどこも抱えている課題ですが、福祉人材ですね。保育人材のところが大分大きなサポートをいただいて、働き手もまだまだ足りてないですけども、少し目安はつけたのかなというふうに思いますが、高齢者から障害者含めて、福祉の分野でサポートしてくれる人材というのが、やはりまだまだ足りない状況です。

こういったところでそういったことの職場の改善含めて、保育と同じようなサポートをしていただけるとありがたいというふうに感じています。以上です。

○行政部長 どうもありがとうございました。

それではまず知事から御発言をお願い申し上げます。

○知事 スタートアップの件ですけども、先日もアジア、それからニューヨーク、アジアは具体的にはインドネシア、ジャカルタ。

私が行ったその二か国は少なくとも猛烈に元気だったですね。若い人口が多いと。そして若い人達がやはりスタートアップを目指すというような、もう空気が出来ているのは非常にいいことだなと思ひまして、そしてやはりスタートアップを進めるということが結局、東京のイノベーションを進めるという、また東京の成長につながるということから、長谷部区長も熱心に渋谷区のエコシステムをより改善させて頑張っておられるのをよく承知しております。

都として8月にスタートアップに関係するメンバーの庁内横断チームを作りました。これが Team Tokyo Innovation というのですが、庁内もいろんな分野がありますので、そこを結集してワンチームでスタートアップの施策に取り組もうということです。

そういう意味でもスタートアップの支援に携わる職員同士が交流を行っていたり、それから区のスタートアップ支援拠点の運営とか、様々な支援策に対して資金面でのサポートも行っています。

今後、これからもスタートアップとか、デジタルとか、やはり東京をより元気にしてい

くための方策を、より効率性を上げながら、また実効性を上げながら、スピード感を上げていきたいなと思っておりますので、今度とも連携を図っていきたい。またスタートアップ、そしてベンチャーキャピタル等が交流する場づくりを含む、様々な取組を進めていきたいと思っております。ともに頑張っていきましょう。よろしく申し上げます。

この後、副知事の方から話させていただきます。

○副知事 はい。ありがとうございます。副知事の黒沼でございます。

若年女性のお話、それから福祉人材のお話をいただきました。若年女性問題については、特に区以外の所からという深刻なお話も承りました。

若年女性支援については虐待、貧困、性被害、家庭関係の破綻等、様々な困難を抱える若年女性の支援を行ううえで、女性相談員の役割は極めて重要でございます。

そこで都は区市の女性相談員の専門性を向上するための研修の実施や、若年被害女性等の支援を行う関係機関を構成員とした連携会議を開催いたしまして、アウトリーチの支援や居場所の確保、あるいは公的機関等へのつなぎ等を行う取組、こういったものの情報共有をまず行ってございます。

併せまして、東京都女性相談センターでも区からの相談に応じているところでございます。

引き続き貴区と連携をしながら女性相談支援に取り組んでまいりたいと考えております。

次に福祉人材の処遇と職場環境の改善でございます。この処遇と環境の改善についてですが、質の高い福祉サービスが安定的に提供されるためには、これを担う福祉人材の確保、定着を図ることが重要でございます。

このため、都は働きやすい職場環境の整備や、福祉の仕事に対するイメージアップ、これは福結びというようなホームページでもこういった取組しておりますけれども、こういった取組や、あるいは障害・介護施設等へのデジタル機器の導入支援、保育士のキャリアアップ補助等、様々な取組を行ってございます。

福祉人材の確保等に関する国への要望につきましては、近県をはじめ全国の自治体とも広く連携をして、今後とも様々な機会を捉えて、必要な要望を国に対しても行ってまいりたいと考えております。以上でございます。

○行政部長 どうもありがとうございました。

長谷部区長、本日は様々な御意見等をいただきまして、ありがとうございました。

それでは最後に知事から御発言、賜ればと思います。

○知事 はい。本当時間少ないのですが、コロナもそうでしたが、やはり区以外から来られる方等が非常に多いということだと思いますが、それも含めて対応をいい方法で考えていく必要があると思います。

若年の女性の駆け込み寺というのでしょうか、私も見に行ったことがありますけれども、やはり逃げた先を知られたくないとか、本当に怯えておられる方々も、そういう場所の提供等も、様々な組織がやっておられたり、そういったところもサポートもしていく必要が

あるのかなと思っております。

東京は、やはり日本経済のエンジンでありますので、エンジンがこれからどうなるのか、自動車産業も含めてですけど、しっかりヒートアップを、この後全体をあつためていく、そういう先頭に立っていただくようにもお願いしたいと思います。

○渋谷区長 ありがとうございます。

是非福祉のその若年の女性相談のところは、現場がちょっと人も足りなかったりとか、ちょっと困っているところもあるので、またそういった相談もしっかりとのっていただくと助かります。ありがとうございました。

○行政部長 ありがとうございました。

渋谷区長との意見交換は以上で終了させていただきます。どうもありがとうございました。

区長、御退出いただければと思います。失礼します。

○渋谷区長 はい。ありがとうございます。

○知事 はい。御苦労様です。

○行政部長 続きまして葛飾区の青木区長との意見交換を始めさせていただきたいと思えます。区長、音声、映像、問題なく届いておりますでしょうか。

○葛飾区長 ありがとうございます。よろしくお願いします。

○行政部長 それでははじめに知事から一言、御挨拶を賜ればと思います。お願いします。

○知事 はい。青木区長、御苦勞様でございます。いろいろコロナでも大変苦勞があった、その御苦勞様でございます。

葛飾区の方ではものづくり、また中小企業ということで中小企業振興公社、そして都立の産業技術研究センターのブランチを置いているわけですが、10月には葛飾区産業フェアでも施設公開を行う等、連携をして取り組んでいくと伺っておりますので、都内経済を支える中小企業の支援とともに進めていきたいと思えます。

限られた時間ではございますけれども、御意見や御提案、御要望等伺いたく存じますので、よろしくお願いいたします。

○行政部長 それでは青木区長の方から御発言を賜ればと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○葛飾区長 はい。よろしくお願いします。ちょっと声が枯れておまして申し訳ありませんけれども、今年もこうした場を設けていただきまして、本当にありがとうございます。

中小企業については葛飾区は大変重要な分野ですので、これからも都と連携をさせていただきたいと思えます。よろしくお願いします。

今日は三点お願いします。毎回毎回お願いしているんですけども、新金線の旅客化の件です。

この件については、このところ進展がございました。これについては高齢者への対策ですとか、それから地球温暖化への対策、いろんな意味で公共交通を充実するということが、葛飾区の最重要課題の一つになっております。

そして今回、2030年を目途に、新小岩から新宿（にいじゅく）まで第一次の計画として実現をするという発表をさせていただきました。

そうしたことを受けて、先々月（※先月の誤り）ですけれども8月31日に学識経験者、そしてJR東日本、JR貨物、京成電鉄、国土交通省、そして東京都は都市整備局の都市基盤部長に御参加をいただいて、警視庁、江戸川等々の参加をいただいて、議論が始まったところでございます。

最初から非常に熱を帯びた議論もされておまして、是非、この事業については早期に実現をしたいと思っております、やはり国も都も、そしてJRも、皆が協力をしないとできない事業でございますので、是非御支援をいただけたらと思っております。

二つ目ですけれども、広域行政としての高齢者介護施設の大規模改修。これを是非進めていきたいと思っております。

葛飾区の特別養護老人ホームをはじめ、そういった施設が16か所ぐらい大きな施設が

あるわけでありまして、それがもう 20 年を過ぎて、これを建替えるなり、また、大規模改修をしなければいけない。

そうするとそこにいる方への対応をしなければいけないということで、今、葛飾区は東の方にそういった施設がないものですから、東京都の都住の方の土地を購入させていただいて、そこで事業を実施しようということで、今進めさせていただいております。

是非その際にも、これから将来のこともありますので、御支援をいただけたらというふうに思っております。

三つ目ですけれども、脱炭素化に向けた都内の森林整備の取引について、御支援いただきたいと思っています。

葛飾区では 23 区でトップを切って、ゼロエミッションかつしか宣言をさせていただきました。

これからの時代、是非こうしたカーボンニュートラル、ゼロエミッション東京、こういったこともあります。そうしたことを都や区と連携しながら、都内でも多摩の方は森林もあるわけでありますので、そうした方々と一緒になって、東京都で脱炭素化に向けた取組を進めたいと思います。

葛飾でも学校の整備、それから公共施設の整備について、木を中心とした施設計画を今進めているところであります。そうしたことについて是非都が間に入っていて、多摩の方とも連携しながら、こうした取組も進めていきたいなというふうに思っております。

是非こうした取組に御支援をいただけたらと思いますので、よろしく申し上げます。以上です。

○行政部長 どうもありがとうございました。

それではまず知事から御発言を賜ればと思います。

○知事 三点お話いただいたかと思いますが、私の方からは脱炭素化についてお話したいと思っています。

ゼロエミッション東京、これ 2050 年を目途にしているわけですがけれども、この気候変動は最近特に猛威を振るっていることは言うまでもありません。

そこでゼロエミッションを確実に進めていくためにも、皆様方をはじめとする区市町村との連携、協力は不可欠ということになります。

先陣を切ってゼロエミッションかつしかの宣言、積極的に取り組んでおられます。改めて再生可能エネルギーの導入、それからエネルギーの地産地消等、地域の特性や地域資源を活用しての取組等を行う区市町村を都は支援をいたしておりますので、お話がありました都内の森林整備に向けた地域間相互協力についても、多摩そして区部、各々の自治体同士の連携の後押しをしっかりと進めたいと思っております。

コロナも次に備えなければなりませんけれども、それでもサステナブル、持続可能な回復を目指すということ、ともに連携してその場のことではなくて強力で脱炭素化、これを推し進めていきたいと思っておりますので、ともに頑張っていきましょう。よろしくお願

します。

○副知事 それでは私の方から残る二つの点、新金貨物線の関係と高齢者施設の改修に係る代替施設整備等のお話について、発言をさせていただきます。

まず新金貨物線でございますけれども、この旅客化につきましては、東京都における鉄道整備ですが国の交通政策審議会の答申において、事業化に向けて検討等を進めるべきとされた路線を中心に検討をさせていただいております。

新金貨物線につきましてはまだこの答申に位置付けはございません。まず答申に反映されることが必要と考えておりますが、冒頭に区長からお話がございましたとおり、この8月31日に開催された検討会につきましては、国とともに都も参画をして、いろいろ発言をさせていただいております。引き続き、技術的な助言を積極的に行ってまいりたいと思います。

続きまして高齢者施設の改修に当たる、いわゆる代替施設の整備に関する支援でございますが、高齢者施設の改修支援、これは老朽化した高齢者施設を建替え、改修する、これ喫緊の課題でございますが、敷地が狭隘な都市部においては様々な困難を伴います。

このため、都では都有地におきまして、例えば令和元年からは清瀬小児病院の跡地、そして現在、板橋キャンパスの跡地もいわゆるその代替施設、建替施設に利用していただくように現在都は進めてございますが、こうした取組を進めていく中で、引き続き区とも連携して取組を進めてまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

○行政部長 はい。ありがとうございました。

青木区長、本日は様々な御意見、御要望をいただきまして、ありがとうございました。

それでは最後に知事の方から、御発言をお願い申し上げます。

○知事 非常に短い時間で恐縮でございますけれども、大きな絵は「未来の東京」戦略に描いております。

その推進、そして今日伺いました御意見や御提案等も、予算編成に当たっての施策や事業の検討に取り組んでいきたいというふうに考えております。

なかなかコロナで直接お会いすることがこの間、叶いませんでしたけど、今日はこうやってオンラインでお話も伺いました。ともにサステナブル・リカバリーに向けまして、プラスの方向で進めていきたいというふうに思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○行政部長 ありがとうございます。

○葛飾区長 ありがとうございます。

脱炭素化は本当に最重要課題ですので、それは是非連携して進めていきたいと思えます。また高齢化対策もお話のとおり、施設を改修していくということで、是非協力してください。

ただ、この新金線の旅客化についてはこの間ずっとお願いしているんですけれども、毎回どうしても交通政策審議会のところで、そこがネックだというような話になってしまいますので、もしそうであれば交通政策審議会についてもクリアをしていく、もう既にそこから先の具体化のところに議論は進んでいますので、その交通政策審議会に載せることに

ついても、具体的にこれから協議をしていきたいなというふうに思っていますので、是非御支援よろしくをお願いします。

○行政部長 ありがとうございました。

本日の意見交換は以上で終了となります。区長、どうもありがとうございました。